

乳腺・甲状腺外科

研修指導者名

喜島 祐子(乳腺専門医) 中条 哲浩(甲状腺外科専門医) 有馬 豪男(甲状腺外科専門医)

メッセージ

乳腺科・・・日本乳癌学会認定の乳腺専門医に必要な、診断、治療手技、薬物療法、病理診断のスキルを習得することを目標としています。入院患者を中心とした医局内カンファレンスでは、1例ごとに問題点を挙げ、術前時にディスカッションを行うためのプレゼンテーションを行います。1例1例を積み上げることで画像診断、病理診断、問題点がわかるようになり、また術後報告の際には、術中所見がどうであったかの検討を再び1例毎に実施していきます。院内の病理カンファレンスを実施し、最終病理報告と術前の問題点、画像評価がどうであったかを検討しています。化学療法カンファレンスでは、外来化学療法室の専門看護師、スタッフ、主治医が個々の症例についてディスカッションを行っています。ベッドサイドで患者さんに触れ合いながら、一連の診断、治療の流れを学びながら、これら専門的なカンファレンスに参加することで、掘り下げた内容の討論を学ぶ、行う能力を身につけていきます。

甲状腺外科・・・甲状腺外科では甲状腺癌を中心に、甲状腺濾胞性腫瘍、症状のある甲状腺腫、バセドウ病、上皮小体腫瘍などの手術治療を年間100例以上行っています。手術以外でも、外来での頸部エコーや吸引針細胞診の手技などを習得します。手術症例の術前カンファレンスでは、各症例のアナムネーゼ、身体所見、各種検査所見、診断（および鑑別診断）、治療法（術式）についてプレゼンテーションを行い、詳細な検討を行います。各症例を深く検討すること、さらに同様の症例を多数経験することで、症状や身体所見から病態を把握する力、画像診断の能力、病理所見の見方など甲状腺外科医としての専門性の高い知識の習得を比較的短期間に行うことができ、甲状腺外科専門医を取得するのに十分な研修が可能です。

また、当科は甲状腺内視鏡手術を先進医療として施行できる数少ない認定施設です。甲状腺内視鏡手術は保険適応間近で、今後日本でも大きく広がっていくことが予想される分野ですが、日本の施設では数多くの症例を経験できる研修施設は非常に僅かです。当科では甲状腺内視鏡手術だけで年間50～60症例を行っており、日本内視鏡外科学会技術認定の早期取得も可能です。

研修目標

乳腺専門医取得、甲状腺外科専門医取得、日本内視鏡外科学会技術認定医取得

研修可能技能

主として乳癌と甲状腺疾患の診断と治療

- ・マンモグラフィ読影
- ・乳腺／甲状腺の超音波検査手技
- ・乳腺／甲状腺の吸引針細胞診、針生検の手技
- ・乳腺／甲状腺の手術手技



取得できる専門医資格技能

日本外科学会専門医取得（卒後5年） 日本乳癌学会認定医取得（卒後5年）
日本甲状腺外科学会専門医取得（卒後5年） 日本乳癌学会乳腺専門医取得（卒後6年）
日本内視鏡外科学会技術認定（卒後7年）

特 徴

甲状腺外科・・・一般的な甲状腺手術に加え、胸骨切開や気管再建を伴う拡大手術、甲状腺癌にも適応できる低侵襲の甲状腺内視鏡手術を施行。特に内視鏡手術は日本有数の症例数を誇る。

研修参加条件

卒後臨床研修修了者

研修施設

鹿児島大学病院 および その関連施設

研修期間

卒後7、8年目で研究
卒後9年目で学位取得

現在研修中の医師数

	大学内(うち大学院生の数)		大学外
卒後3年目	1	(0)	0
卒後4年目	0	(0)	1
卒後5年目	1	(0)	0

プログラムの募集人員及び選考

【募集人員】 若干名

研修と大学院の関係

基本的には卒後3年目は大学研修
4、5年目は大学院中の学外研修
卒後6年目に大学院入学

処 遇

大学病院の医員としての待遇

研修終了後の進路

乳腺、甲状腺専門医を取得するべく研修を重ねる。
あるいは、乳腺、甲状腺認定医、内分泌外科医として臨床に従事する。

指導医・専門医

日本乳癌学会指導医 2名 日本乳癌学会乳腺専門医 3名 甲状腺外科専門医 2名
日本外科学会指導医 3名 日本外科学会専門医 5名

プログラムに関する問い合わせ窓口

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 腫瘍学講座 消化器・乳腺甲状腺外科
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号
TEL:099-275-5361 Fax:099-265-7426
E-mail : mataki@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

医局長 又木 雄弘

